



平成30年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月6日

上場会社名 株式会社 技研製作所
コード番号 6289 URL <http://www.giken.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 精男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 藤崎 義久

TEL 088-846-2933

四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第3四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第3四半期	19,143	3.0	3,278	16.3	3,319	16.9	2,295	19.9
29年8月期第3四半期	19,743	19.1	3,916	10.3	3,994	12.6	2,865	23.1

(注) 包括利益 30年8月期第3四半期 2,159百万円 (26.1%) 29年8月期第3四半期 2,923百万円 (35.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第3四半期	86.19	84.82
29年8月期第3四半期	116.00	114.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第3四半期	47,425	33,037	68.4
29年8月期	47,104	31,779	67.1

(参考) 自己資本 30年8月期第3四半期 32,440百万円 29年8月期 31,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		30.00		40.00	70.00
30年8月期		30.00			
30年8月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年8月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当20円 記念配当10円(創業50周年記念配当)

平成29年8月期期末配当金の内訳 普通配当20円 記念配当20円(東証第一部指定記念配当)

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	11.7	5,800	13.2	5,850	12.5	4,000	8.9	150.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年8月期3Q	27,401,228 株	29年8月期	27,144,728 株
30年8月期3Q	692,546 株	29年8月期	692,562 株
30年8月期3Q	26,632,075 株	29年8月期3Q	24,706,231 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)業績予想について

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(2)金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額について、従来、千円単位で記載していましたが、前連結会計年度末より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、「中期経営計画（平成28年8月期－平成30年8月期）」にもとづき、①インプラント工法のパッケージ化によるグローバル展開、②開発に特化した企業体制の更なる強化、③高知を世界の圧入のメッカにする、の基本戦略を推進しており、第2四半期の決算発表時に行った修正予想のとおり、目標とする数値計画（売上高290億円 営業利益58億円）を達成すべく、鋭意活動しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、切迫する巨大地震や多発する自然災害等に備える防災・減災事業や、老朽化した社会インフラの再生・強化への需要拡大を背景に、公共工事が堅調に推移し、安定した状況が継続しております。

こうした中、日本国内では、ハット型鋼矢板や鋼管矢板、鋼管杭に対応した「サイレントパイラーF301」の販売が増加したものの、ジャイロパイラー等大型機の納入が第4四半期にずれ込んだことなどが影響し、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

平成30年6月に公益社団法人土木学会が公表した『「国難」をもたらす巨大災害対策についての技術検討報告書』にも示されたように、道路や港湾、堤防などの事前公共インフラ対策が喫緊の課題となっております。加えて、大阪北部地震など頻発する自然災害に対しても、当社グループは、「建設の五大原則」に則った工法の開発と提案をこれまで以上に推進し、防災技術としてのインプラント工法の採用を今後も拡大させてまいります。

また、海外市場においては、製品販売は前年同四半期並みであったものの、大型工事が減少いたしました。しかし、昨年12月に子会社化したJ Steel Group Pty Limited（豪州）の連結効果もあり、海外全体の売上高は前年同四半期比増という結果となりました。なお、昨年12月、米国ニューヨーク市マンハッタンでのハリケーン被害からの地下鉄の修復および地下鉄駅舎の改築工事において、当社工法の優位性が認められ初採用となっております。米国では、大規模なインフラ投資を行う計画があり、ニューヨーク市の地下鉄、地下ライフラインの老朽化対策の加速化が見込まれております。大都市におけるインフラ再整備や災害復旧工事は、米国に限らず潜在的需要が見込まれます。今後、ODA案件も含め世界各地において工法の普及拡大を推進してまいります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、19,143百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。また利益面におきましても、営業利益3,278百万円（同16.3%減）、経常利益3,319百万円（同16.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,295百万円（同19.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①建設機械事業

防災・減災需要の高まりに伴い、防潮堤や護岸などの改修・補強工事に対応する「サイレントパイラーF301」、および汎用機「サイレントパイラーF101」の需要が増加しております。

このような状況ではありますが、ジャイロパイラー等大型機の納入が第4四半期にずれ込んだことなどが影響し、建設機械事業の売上高は13,216百万円（前年同四半期比4.4%減）、セグメント利益は3,967百万円（同8.7%減）となりました。

②圧入工事業

前期に引き続き、地震や水害に対する防災・減災関連工事において、当社工法の採用が堅調に推移しております。また、首都高速道路の大規模更新事業として高速1号羽田線において、鋼管矢板圧入工法が採用されるなど、インフラ老朽化対策での需要が高まっております。

このような状況のもと、圧入工事業の売上高は5,927百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。一方、利益面においては、前年同四半期と比較して人件費などの販売費及び一般管理費が増加したことにより、セグメント利益は518百万円（同11.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ321百万円増加して、47,425百万円となりました。これは、現金及び預金等の流動資産の減少396百万円に対し、機械装置及び運搬具等の固定資産の増加718百万円の差引合計によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ936百万円減少して、14,387百万円となりました。これは、賞与引当金等の流動負債において651百万円、長期借入金等の固定負債において285百万円の減少があったことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,257百万円増加して、33,037百万円となりました。これは、利益剰余金等の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年4月6日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,993	6,594
受取手形及び売掛金	8,012	7,496
製品	1,179	1,981
仕掛品	2,242	2,373
未成工事支出金	12	18
原材料及び貯蔵品	1,937	2,373
繰延税金資産	1,893	1,958
その他	399	479
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	23,662	23,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,386	4,382
機械装置及び運搬具	11,534	12,288
土地	9,640	9,433
建設仮勘定	1,968	1,899
その他	889	1,002
減価償却累計額	△8,424	△9,487
有形固定資産合計	19,995	19,518
無形固定資産	139	628
投資その他の資産		
投資有価証券	957	1,565
繰延税金資産	39	60
その他	2,308	2,408
貸倒引当金	△0	△20
投資その他の資産合計	3,306	4,013
固定資産合計	23,441	24,160
資産合計	47,104	47,425

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,349	5,335
短期借入金	282	307
未払法人税等	1,116	213
前受金	4,576	4,857
賞与引当金	740	352
その他の引当金	8	55
その他	1,310	1,611
流動負債合計	13,384	12,732
固定負債		
長期借入金	649	484
製品機能維持引当金	413	293
退職給付に係る負債	115	105
その他の引当金	—	25
その他	762	746
固定負債合計	1,940	1,655
負債合計	15,324	14,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,055	8,283
資本剰余金	9,216	9,444
利益剰余金	14,764	15,201
自己株式	△303	△303
株主資本合計	31,732	32,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	△43
繰延ヘッジ損益	—	4
為替換算調整勘定	△158	△155
退職給付に係る調整累計額	10	9
その他の包括利益累計額合計	△121	△185
新株予約権	168	82
非支配株主持分	—	514
純資産合計	31,779	33,037
負債純資産合計	47,104	47,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)
売上高	19,743	19,143
売上原価	12,172	11,774
売上総利益	7,571	7,368
販売費及び一般管理費	3,655	4,089
営業利益	3,916	3,278
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	2	2
不動産賃貸料	25	56
為替差益	22	—
その他	50	46
営業外収益合計	102	108
営業外費用		
支払利息	5	6
不動産賃貸費用	8	10
貸倒引当金繰入額	—	20
株式交付費	—	4
為替差損	—	17
その他	9	8
営業外費用合計	24	67
経常利益	3,994	3,319
特別損失		
固定資産廃棄損	10	—
特別損失合計	10	—
税金等調整前四半期純利益	3,983	3,319
法人税等	1,117	1,052
四半期純利益	2,865	2,267
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	△28
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,865	2,295

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年5月31日)
四半期純利益	2,865	2,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	△70
繰延ヘッジ損益	—	8
為替換算調整勘定	7	△44
退職給付に係る調整額	—	△0
その他の包括利益合計	57	△107
四半期包括利益	2,923	2,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,923	2,231
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号 平成30年1月12日。以下「実務対応報告第36号」という。)等を平成30年4月1日以降適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号 平成17年12月27日)等に準拠した会計処理を行うことといたしました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10号(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額(注)2
	建設機械事業	圧入工事業			
売上高					
外部顧客への売上高	13,819	5,924	19,743	—	19,743
セグメント間の内部売上高 または振替高	804	69	874	△874	—
計	14,624	5,993	20,618	△874	19,743
セグメント利益	4,344	586	4,930	△1,014	3,916

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,014百万円には、セグメント間取引消去△15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△998百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額(注)2
	建設機械事業	圧入工事業			
売上高					
外部顧客への売上高	13,216	5,927	19,143	—	19,143
セグメント間の内部売上高 または振替高	1,006	114	1,121	△1,121	—
計	14,222	6,042	20,265	△1,121	19,143
セグメント利益	3,967	518	4,486	△1,207	3,278

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,207百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,198百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。